



剣淵町長 早坂 純夫



希望に満ちた新春を迎えられた町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

日頃からの町政に対する深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の天候推移は、播種後の干ばつにより作物の発芽や成長に遅れがあり、一時はどうなることかという事態でありました。しかし、収穫後の手ごたえとして、ほぼ平年同様の作柄であったとお聞きし、胸を撫で下ろしたところでありました。

災害においては、台風こそ道北地方を避けるようにして数回にわたり北海道に接近する状況でもありましたが、大事には至りませんでした。今後とも気象変異に対する防災意識を持つことが大切と考えます。

今一度、ご家族で、そしてご近所で防災に対する話題を持つことが必

要かと思えます。

さて昨年は、新天皇がご即位され年号が令和の時代となりました。上皇、上皇后さまのご安心された表情、そして受け継がれた新天皇のお言葉など国民の心を打つ出来事が多々ございました。象徴天皇として日本世界の平和を願うものであり、私たち国民も願うことであります。

剣淵町は開基から122年目に入り、始めました令和時代の新たな歴史を刻むまちづくりは、自分たちが自主・自活して何ができるかを求められている時代であります。それぞれの町が均衡ある発展は過去のこととなりました。

自主性を重んじた社会参加が不可欠であり、それには、コミュニティが必要不可欠となります。厳しい町政に深いご理解と、町民の皆様のもちづくりに対する参加姿勢にあらためて敬意を表し感謝いたします。

これからの自主自立社会に対応すべく知恵と汗を積み上げ、この難局を乗り越えなければならぬと考えますので、町行政に對しまして深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

歴史から学ぶことは大事なことであります。平成28年から制作に取

り掛かりました剣淵町史、続史二が内容精査のために遅れておりましたが、この3月末には、完成の運びとなりますことから、町民の皆様披露できると思えます。

日本は、アジアの平和と共に隣国関係が危うい時代を迎え、昨年も米大統領の思惑に翻弄される年でもありました。北朝鮮と韓国の関係が深まり、これまでの日本との連携に対する意識に大きな変化がありました。幸い、アジアの安全に繋がるGSOMIA（ジーソミア）といわれる軍事情報包括保護協定は再継続されることになりましたが今後も注視することになります。

また、アメリカは自国の貿易収支に重きをおき、アジアの支配力を強めようとする中国に對しけん制するなど、日本への影響が否めない状況で動いている一年でした。

その陰で、TPP離脱に始まった農産物の日米貿易協定の攻勢をどうガードするかが課題であります。昨秋に道が、アメリカとの交渉やTPP11の経済的影響額を試算しましたところ、農畜産物でおよそ334億円、496億円の生産額への影響があるといわれています。

影響を受けるのは基幹産業である

農業でありますから、関係団体と連携を密にして対応していかねばと考えています。

地方創生事業を活用して実施した絵本で剣淵町を紹介するPR手法は、タイ国に開設したとさんこプラザや旅行関係団体等に、高橋前知事自らの北海道PRに使用していただいたこと等の相乗効果は、交流人口や関係人口の増加に寄与するものと判断いたします。

町民の暮らしを支えるのは、地場産業振興はもとより、安全であり安心であります。住み続けられる環境を整えなければなりません。各種課題を検証し、解決に向けて町としてできることを一つひとつ進めなければならぬと考えています。

地域生活の変化に対応するため、町民の皆様幅広いご意見を頂戴し、活力ある絵本の里けんぶちのまちづくりに2020年も邁進したいと考えています。

本年はオリンピック・パラリンピックの年でもあり、メイン種目のマラソンが北海道で開催されることは喜ばしいことでもあります。今年一年、町民の皆様が健康にて、更なる五穀豊穰の秋を迎えられますよう祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

# 剣淵町議会議長

高橋 一博



町民の皆様、明けましておめでと  
うございます。皆様には2020年  
の新春をお元気で迎えのことと心  
からお慶び申し上げます。また、日  
頃より町政の推進に特段のご理解と  
ご協力を賜り、議会を代表し厚くお  
礼を申し上げます。

昨年の5月に「平成」から「令和」  
に元号が変わり、新しい時代を迎え  
ました。少子高齢化が進む今の日本  
が新時代に相応しく、安心・安全に  
暮らせる世の中になってほしいと願  
うところでもあります。

昨年を振り返りますと融雪も順調  
に進み、は種・移植ともに適期に終  
りました。5月下旬から6月上旬  
の雨不足により一部地域で豆類の発  
芽むらの被害がありました。農家  
皆様の適切な肥培管理と関係機関の  
指導により、秋には水稲・畑作・野  
菜全般にほぼ平年並みに推移しまし  
た。特に水稲においては、上川は作

況指数105のやや良となり、一昨

年と比較し農家の皆様の努力が報わ  
れた年であり、本年の作柄にも大き  
な期待をするところです。また、北  
海道には大きな台風の影響は辛うじ  
てありませんでしたが、近年、毎年  
のように100年に一度と言われる  
豪雨や台風被害が発生し、国内で尊  
い人命が失われ、加えて建造物の被  
害、農作物の壊滅的被害など、個人  
の力では防ぎきれないまさに日常生  
活を根幹から破壊する未曾有の大災  
害が発生しております。本町におい

ても、これまで以上に防災意識を高  
めるとともに、『まさか』に対するで  
きるだけの備えを町全体で取り組ん  
でいかなければならないと思えます。

さて、昨年の本町の農業施策にお  
いては、道営土地改良事業や農業機  
械利用事業委託作業機械ビートハー  
vester購入補助事業が終了したと  
ころです。また、継続事業の農地排  
水機能向上対策事業補助金、甜菜・  
馬鈴薯生産振興対策事業などは、農  
業者の負担軽減に効果を上げていて  
と思えます。また、けんぶち農業プ  
ランド化推進事業は、町内で活発に  
活動している団体と連携した農産加  
工品の開発と商品化に向けて、本町  
のPRに期待をするところです。

商工業振興対策として定着してお  
ります購買促進プレミアム商品券事  
業、加えて町内購買促進スタンプ事  
業の継続は商店街の活性化には欠か  
せない事業であり、購買流失防止対  
策のため今後も力を入れていかなけ  
ればなりません。本町の重要な観光  
施設であるレークサイド桜岡は、現  
在も非常に厳しい経営が続いており、  
改善に向けて会社一丸となって努力  
していますので、町民皆様のより一  
層のご利用をお願いします。

国内外に目を向けてみますと、政  
府の景気判断が地方に届かない中で、  
昨年の10月から消費税率が10%に  
上がりました。政府には目的に沿っ  
た使途を求めるものであります。ま  
た、一昨年の暮れに発効されたTP  
P11に続きEU（欧州連合）との経  
済連携協定（EPA）にとどまらず、  
今度は日米貿易協定の承認に向けて  
議論されています。政府にはしっか  
りと国内対策を最優先に協定の影響  
を分析し、10年、20年後の農業・農  
村のあるべき姿を描き、政策を実行  
してほしいと思えます。

今年も東京オリンピック・パラリ  
ンピックの開催年であり、道内  
で行われる競技が北海道にとって、  
どのような経済効果があるのか関心

を持っていきたいと思えます。

本町では多くの個人・団体が活躍  
しております。町の発展は行政主導  
ではなく、民間の活力が最も重要で  
あります。これからも本町で活躍し  
ている皆様に、行政と一体となって  
支援をしていく考えであります。私  
たち議会は、先人の築いてこられた  
郷土、恵まれた自然と肥沃な農地を  
礎に更に発展させ、次の世代に継い  
でいかなければなりません。

結びに、依然として続く厳しい財  
政の中、これからも町民皆様の深い  
ご理解とご協力をお願いするととも  
に、本年も災害のない豊穰の年であ  
ることを願い、更に町民皆様にとり  
まして健康で希望に満ちた年であり  
ますことを、心からお祈り申し上げ  
年頭のあいさつといたします。

